

科目 現代の国語

單位數： 2 單位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ C 組

使用教科書：（『現代の国語』筑摩書房

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたり必要な国語の知識や技能を身につける、

【思考力、判断力、表現力等】考察力・共感力・想像力を伸ばし、自らの思いを他者に的確に発信する能力を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】読書に親しみ自己を向上させ、自国文化の担い手として社会に関わろうとする態度を養う。

科目 現代の国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、他者や社会に対して興味関心を持ち、理解を深めることができるようにする。	「書くこと」「読むこと」において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しむ姿勢をもち、我が国の文化の担い手として、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

[illegible]

科目 言語文化

單位數： 3 單位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ C 組

使用教科書：（『言語文化』大修館書店

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたり必要な国語の知識や技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】考察力・共感力・想像力を伸ばし、自らの思いを他者に的確に発信する能力を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】読書に親しみ自己を向上させ、自国文化の担い手として社会に関わろうとする態度を養う。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたり必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対して興味・関心を持ち、理解を深めることができるようにする。	古典作品、文学的作品において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しむ姿勢をもち、我が国の文化の担い手として、言葉を通して他者や社会に関わりようとする態度を養う。

[illegible]

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	歴史の扉 【知識及び技能】 18世紀の東アジア世界に関する理解を深め、諸資料から歴史に関する情報を読み取り、活用する能力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 18世紀の東アジア世界に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉えて、諸課題を考察する歴史的思考力を培う。 【学びに向かう力、人間性等】 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成に貢献できる資質と能力を養う。	東アジアにおける前近代の歴史	【知識・技能】 講義や探究活動を通して、18世紀の東アジア世界について理解している。また、資料を読み解き活用する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 18世紀の東アジア世界に対して問題意識を持ち、時期や年代、推移、比較、相互関連などに着目して多面的に考察し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀の東アジア世界に関して、主体的に問いを立てて探究しようとしている。	○	○	○	2
	近代化と私たち 【知識及び技能】 近代化に関する理解を深め、諸資料から歴史に関する情報を読み取り、活用する能力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 近代化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉えて、諸課題を考察する歴史的思考力を培う。 【学びに向かう力、人間性等】 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成に貢献できる資質と能力を養う。	(1) 近代化への問い (2) 結びつく世界と日本の開国 (3) 国民国家と明治維新 (4) 近代化と現代的な諸課題	【知識・技能】 講義や探究活動を通して、近代化が覆う世界情勢について理解している。また、資料を読み解き活用する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 近代化に対して問題意識を持ち、時期や年代、推移、比較、相互関連などに着目して多面的に考察し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 近代化が覆う世界情勢に関して、主体的に問いを立てて探究しようとしている。	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
2 学 期	国際秩序の変化や大衆化と私たち 【知識及び技能】 国際秩序の変化や大衆化に関する理解を深め、諸資料から歴史に関する情報を読み取り、活用する能力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 国際秩序の変化や大衆化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉えて、諸課題を考察する歴史的思考力を培う。 【学びに向かう力、人間性等】 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成に貢献できる資質と能力を養う。	(1) 国際秩序の変化や大衆化と私たち (2) 第一次世界大戦と大衆社会 (3) 経済危機と第二次世界大戦 (4) 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	【知識・技能】 講義や探究活動を通して、国際秩序の変化や大衆化について理解している。また、資料を読み解き活用する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 国際秩序の変化や大衆化に対して問題意識を持ち、時期や年代、推移、比較、相互関連などに着目して多面的に考察し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際秩序の変化や大衆化に関して、主体的に問いを立てて探究しようとしている。				31
							1
3 学 期	グローバル化と私たち 【知識及び技能】 グローバル化に関する理解を深め、諸資料から歴史に関する情報を読み取り、活用する能力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 グローバル化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉えて、諸課題を考察する歴史的思考力を培う。 【学びに向かう力、人間性等】 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成に貢献できる資質と能力を養う。	(1) グローバル化への問い (2) 冷戦と世界経済 (3) 世界秩序の変容と日本 (4) 現代的な諸課題の形成と展望	【知識・技能】 講義や探究活動を通して、グローバル化に伴う世界情勢について理解している。また、資料を読み解き活用する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 グローバル化に対して問題意識を持ち、時期や年代、推移、比較、相互関連などに着目して多面的に考察し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 グローバル化に伴う世界情勢に関して、主体的に問いを立てて探究しようとしている。				17
	定期考査						1
							合計 78

高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（二宮書店 わたしたちの地理総合―世界から日本へ

）

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特徴と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察し、社会課題の解決に向けて構想し、表現、議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 地理総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解する。 技能：地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	感	配当 時数
1 学期	地図とGISの活用 【知識及び技能】 さまざまな地図に関する基本的な知識を身につけ、地図や地理情報システムなどを用いて、地理空間情報の役割や有用性について理解し、地図化することができるようにする。また、国家の領域に関する知識を身につけ、海洋の役割、領土問題について理解している。日本の位置と領域、領土問題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな地図や地理情報システムの特性を理解し、使用目的に応じて適切に表現している。また、日本の位置と領域について世界的視野から捉え、日本の領域をめぐる問題を考察し、まとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 地図や地球儀ソフトを用いた作業学習に積極的に取り組み、自ら課題を設定して完成させる。地域や国家間の結びつき、日本の領域に関する諸問題について、主体的に探究する。	地理情報と地図 国家の領域と領土問題 国内や国家間の結びつき 日常生活のさまざまな地図	【知識・技能】 さまざまな地図に関する基本的な知識を身につけ、地図や地理情報システムなどを用いて、地理空間情報の役割や有用性について理解し、地図化することができる。また、国家の領域に関する知識を身につけ、海洋の役割、領土問題について理解している。日本の位置と領域、領土問題について理解している。 【思考・判断・表現】 さまざまな地図や地理情報システムの特性を理解し、使用目的に応じて適切に表現している。また、日本の位置と領域について世界的視野から捉え、日本の領域をめぐる問題を考察し、まとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地球儀ソフトを用いた作業学習に積極的に取り組み、自ら課題を設定して完成させている。地域や国家間の結びつき、日本の領域に関する諸問題について、興味・関心をもって授業に臨もうとしている。	○	○	○	27
	定期考査			○	○	○	1
2 学期	生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】 自然環境や世界の産業、言語、宗教、民族などに関する知識を身につけ、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自然環境や世界の産業、言語、宗教、民族などに関する分布の特徴などを、歴史的背景を考察しながら考察し、まとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境や世界の産業、言語、宗教、民族などに興味・関心をもち、国際社会の一員として主体的に関わる。	自然環境と生活文化 産業の発展と生活文化 言語・宗教と生活文化 グローバル化の進展と生活文化	【知識・技能】 自然環境や世界の産業、言語、宗教、民族などに関する知識を身につけ、理解している。 【思考・判断・表現】 自然環境や世界の産業、言語、宗教、民族などに関する分布の特徴などを、歴史的背景を考察しながら考察し、まとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境や世界の産業、言語、宗教、民族などに興味・関心をもって授業に臨もうとしている。	○	○	○	31
	定期考査			○	○	○	1
3 学期	地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 地球的課題や自然災害・防災に関する知識を身につけ、理解する。 【思考・判断・表現】 地球的課題や自然災害の要因を捉え、分析・考察し、まとめる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題や自然災害を自らの問題として捉え、主体的に探究する。	さまざまな地球的課題 自然環境と防災	【知識・技能】 地球的課題や自然災害・防災に関する知識を身につけ、理解することができる。 【思考・判断・表現】 地球的課題や自然災害の要因を捉え、分析・考察し、まとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題や自然災害を自らの問題として捉え、主体的に探究することができる。	○	○	○	17
	定期考査			○	○	○	1
				○	○	○	合計 78

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅰ

教科： 数学 科目： 数学Ⅰ 単位数： 単位 3
対象学年組： 第 1 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（ 数研出版 数学Ⅰ ）

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 二次関数、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟
【思考力、判断力、表現力等】 を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
【学びに向かう力、人間性等】

科目 数学Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
二次関数、図形と方程式、複素数と方程式、三角関数の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明確・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 次関数	1. 関数とグラフ 2. 2次関数の最大・最小 3. 2次関数の決定	【知識・理解】 ○関数を用いて数量の変化を的確に表現することの有用性を理解する。 ○いろいろな関数をグラフに表現できる。 ○関数の値の変化を調べ、関数の最大・最小や2次方程式・2次不等式をグラフを用いて理解し、的確に処理することができる。 ○2次関数の性質とそのグラフの書き方を理解している。 【思考・判断・表現】 ○2次関数の値の変化を調べ、その最大・最小とその応用を理解している。 ○2次関数と2次方程式・2次不等式について理解している。 ○関数概念の理解を深めることにより、具体的な事象について関数を用いて考察することができる。 ○2次関数と2次方程式、2次不等式の関係を、表、グラフなどを利用し論理的・多面的に考察することができる。 ○文字の入った関数の考え方を理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○2次関数とそのグラフや値の変化、2次関数と2次方程式・2次不等式に関心をもち、問題解決に意欲的に取り組もうとする。 ○関数をグラフで表すことの有用性を認識し、主体的に事象を調べようとする。 ○2次方程式・不等式を具体的な事象に活用しようとする。	○	○	○	21
1 学期 定期考査			○	○		
2 次関数	4. 2次関数のグラフと方程式 5. 2次関数と2次不等式	【知識・理解】 ○関数を用いて数量の変化を的確に表現することの有用性を理解する。 ○いろいろな関数をグラフに表現できる。 ○関数の値の変化を調べ、関数の最大・最小や2次方程式・2次不等式をグラフを用いて理解し、的確に処理することができる。 ○2次関数の性質とそのグラフの書き方を理解している。 【思考・判断・表現】 ○2次関数の値の変化を調べ、その最大・最小とその応用を理解している。 ○2次関数と2次方程式・2次不等式について理解している。 ○関数概念の理解を深めることにより、具体的な事象について関数を用いて考察することができる。 ○2次関数と2次方程式、2次不等式の関係を、表、グラフなどを利用し論理的・多面的に考察することができる。 ○文字の入った関数の考え方を理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○2次関数とそのグラフや値の変化、2次関数と2次方程式・2次不等式に関心をもち、問題解決に意欲的に取り組もうとする。 ○関数をグラフで表すことの有用性を認識し、主体的に事象を調べようとする。 ○2次方程式・不等式を具体的な事象に活用しようとする。	○	○	○	21
定期考査			○	○		

複素数と方程式 方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くこと及び因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。	複素数 (1.5) 2次方程式の解と判別式 (1.5) 解と係数の関係 (6) 剰余の定理と因数定理 (5) 高次方程式 (6)	【知識・技能】 ○複素数の表記を理解し、複素数、複素数の相等の定義を理解している。 ○複素数の四則計算ができる。 ○負の数の平方根を理解し、それらを含む式の計算を、i を用いて処理することができる。 ○解と係数の関係を使って、対称式の値や2次方程式の係数を求めることができる。 ○和と積が与えられた2数を、2次方程式を解くことにより求めることができる。 ○剰余の定理を利用することができる。 ○$P(k)=0$ である k の値の求め方を理解し、高次方程式を因数分解できる。 ○因数分解や因数定理を利用することにより、高次方程式を解くことができる。 ○高次方程式の既知の解から、方程式の係数を決定することができる。 ○高次方程式の虚数解から、方程式の係数を決定することができる。 【思考・判断・表現】 ○有理数から実数へ数の範囲を拡張する必要性を理解し、複素数を考察することができる。 ○複素数の範囲で、負の数の平方根を考察することができる。 ○2次方程式の解について、実際に解を求めずに、判別式で解の種類を判別することができることを理解している。 ○異なる2つの実数 α、β が正の数、負の数、異符号であることを、同値な式で表現できる。 ○2次方程式の解の符号に関する問題を、解と係数の関係を利用して考察することができる。 ○多項式 $P(x)$ が $x-k$ で割り切れることを式で表現することができる。 ○高次方程式を、1次・2次方程式に帰着して考察することができる。 ○高次方程式が解 α をもつことを、式で表現することができる。 ○「方程式が虚数 α を解にもてば α^{-1} も解である」ことの証明に、共役な複素数の性質がどのように使われるかを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○方程式が常に解をもつように考えられた複素数に興味・関心を示し、考察しようとする。 ○2次方程式の解が虚数になる場合もあることに興味を示し、2次方程式の解を考察しようとする。 ○2次方程式の解に関する種々の問題を、解と係数の関係を利用して考察しようとする。 ○2次式を複素数の範囲で因数分解することに興味をもち、問題に取り組もうとする。 ○多項式を1次式で割る計算に、組立除法を積極的に利用する。 ○1の3乗根の性質に興味・関心をもち、具体的な問題に取り組もうとする。 ○方程式が虚数 α を解にもてば α^{-1} も解であることに興味・関心をもつ。 ○3次方程式の解と係数に興味・関心をもち、具体的な問題に取り組もうとする。	○ ○ ○	24
定期考査			○ ○	

2 学 期	図形と式 座標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	直線上の点 (1) 平面上の点 (2) 直線の方程式 (4) 2直線の関係 (6) 円の方程式 (3) 円と直線 (3) 2つの円 (1)	【知識・技能】 ○距離の公式を利用して、図形の性質を証明できる。 ○与えられた条件を満たす直線の方程式の求め方を理解している。 ○2直線の平行・垂直条件を理解して、それを利用できる。 ○連立方程式の実数解の個数と、2直線の共有点の個数の関係を理解している。 ○ $kF(x,y)+G(x,y)=0$ の形を利用して、直線の方程式を求めることができる。 ○点と直線の距離の公式を理解して、それを利用できる。 ○与えられた条件を満たす円の方程式の求め方を理解している。 ○ x, y の2次方程式を変形して、その方程式が表す図形を調べることができる。 ○3点を通る円の方程式を求めることができる。 ○円と直線の共有点の座標を求めることができる。 ○円の接線の公式を理解して、それを利用できる。 ○円外の点から引いた接線の方程式を求めることができる。 ○2つの円の位置関係を調べることができる。 ○ $kF(x,y)+G(x,y)=0$ の形を利用して、円の方程式を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○1点を通る直線の方程式から、異なる2点を通る直線の方程式に拡張して考察することができる。 ○連立方程式の解の状況を、2直線の位置関係から考察することができる。 ○2直線の交点を通る直線を、方程式を用いて考察することができる。 ○円の方程式が x, y の2次方程式で表されることを理解し、 x, y の2次方程式が、常に円を表すとは限らないことを考察しようとする。 ○3点を通る円と、この3点を頂点とする三角形との関係を考察することができる。 ○円と直線の共有点の個数を、2次方程式の実数解の個数で考察することができる。 ○円の中心から直線までの距離と円の半径の大小関係を代数的に処理することで、円と直線の位置関係を考察することができる。 ○直線が円によって切り取られてできる線分の長さを、円の中心と直線の距離を用いて考察することができる。 ○2つの円の位置関係を、2円の中心間の距離と半径の関係で考察することができる。 ○2つの円の交点の座標や、交点を通る円について、2つの円の方程式を適切に変形して考察することができる。 ○平面上の点の軌跡を、座標平面を利用して考察することができる。 ○軌跡を求めるには、逆についても調べる必要があることを理解している。 ○点が満たす条件から得られた方程式を、図形として考察することができる。 ○変数 x, y についての不等式を満たす点 (x, y) 全体の集合がどのような図形であるかを考察することができる。 ○条件の真実集合を考えることにより、命題の真偽を真実集合の包含関係として考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○点が満たす条件から得られた方程式がどのような図形を表しているかを考察しようとする。 ○線形計画法では、条件として与えられた不等式の表す領域を図示することにより、鮮やかに最大値・最小値を求めることができることに興味・関心をもつ。 ○不等式を含む命題を、不等式の表す領域を用いて証明することに興味・関心をもつ。 ○放物線を境界線とする領域に関心を持ち、考察しようとする。				
	定期考査			○	○		24

3 学 期	三角関数 角の概念を一般角まで拡張して、 三角関数に関する様々な性質や式 とグラフの関係について多面的に 考察できるようにする。	一般角と弧度法 (1.5) 三角関数 (2) 三角関数の性質 (1) 三角関数のグラフ (4) 三角関数の応用 (2.5) 加法定理 (3) 加法定理の応用 (2) 三角関数の合成 (2)	【知識・技能】 ○弧度法の定義を理解し、度数法と弧度法の換算が できる。 ○扇形の弧の長さや面積の公式を理解している。 ○弧度法で表された角の三角関数の値を、三角関数 の定義によって求めることができる。 ○ $-\theta$ や $\theta \pm \pi$ などの公式を理解し、それらを用い て三角関数の値を求めることができる。 ○三角関数の性質とグラフの特徴を相互に理解して いる。 ○いろいろな三角関数のグラフのかき方と周期の求 め方を理解している。 ○ $y = \sin(k\theta + \alpha)$ の形の関数の式を適切に変形し て、グラフや周期を考察することができる。 ○角が $\theta + \alpha$ の形をしている三角関数を含む方程 式・不等式の解き方を理解している。 ○加法定理を利用して、種々の三角関数の値を求め ることができる。 ○正接の加法定理を利用して、2直線のなす角の鋭角 を求めることができる。 ○2倍角、半角の公式を利用して、三角関数の値を求 めることができる。 ○2倍角の公式を利用することができる。 ○ $a \sin \theta + b \cos \theta$ を $r \sin(\theta + \alpha)$ の形に変形する 方法(三角関数の合成)を理解している。 ○ x の関数 $y = a \sin x + b \cos x$ の式を変形して、関数の 最大値・最小値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○弧の長さや角を図する方法として、弧度法を考察す ることができる。 ○単位円周上の点の動きから、三角関数のグラフを 考察することができる。 ○三角関数の性質を、グラフの特徴とともに考察す ることができる。 ○三角関数を含む方程式・不等式を解く際に、単位 円やグラフを図示して考察することができる。 ○変数をおき換えることで、三角関数を含む関数の 最大値・最小値を考察することができる。 ○角を弧度法で表した場合にも、加法定理が適用で きる。 ○正接の定義と加法定理を利用して、2直線のなす角 を考察することができる。 ○ $a \sin \theta + b \cos \theta$ の変形にあたり、同じ周期をもつ2 つの関数の合成であることを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○ $y = \sin \theta$ と $y = \cos \theta$ のグラフが同じ形の曲線であ ることに興味、関心をもつ。 ○周期関数に興味をもち、その性質を調べようとし る。 ○加法定理を利用して、平面上の点を回転させたとき の座標の求め方を考察しようとする。 ○加法定理から、2倍角の公式、半角の公式を導こう とする。 ○和と積の公式に関心を示し、その公式を用いて三 角関数の値を求めたり、三角方程式の解を求めたり しようとする。 ○同じ周期をもつ2つの関数 $y = \sin x$ と $y = \cos x$ を合 成するとそのグラフは位相がずれた正弦曲線になる ことに興味、関心をもつ。	○	○	○	27
	定期考査			○	○		
							合計 117

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 数学科 科目 数学A

教科：数学科 科目：数学A 単位数：2 単位
対象学年組：第 1 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（数研出版 数学A ）

教科 数学科 の目標：

- 【知識及び技能】図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関
【思考力、判断力、表現力等】係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それ
【学びに向かう力、人間性等】らを活用する態度を育てる。

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	式と証明 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。	恒等式 (4) 等式の証明 (4) 不等式の証明 (5)	【知識・技能】 ○恒等式の性質を理解し、恒等式となるように係数を決定することができる。 ○分数式の恒等式について、分母を払った等式が恒等式であることを利用できる。 ○2つ以上の文字に関する恒等式の係数を決定することができる。 ○等式を証明することができる。 ○不等式を証明することができる。 【思考・判断・表現】 ○1文字の恒等式の知識をもとに、2つ以上の文字に関する恒等式について考察することができる。 ○考えられた条件式の利用方法を考察することができ、適した方法を用いることによって等式を証明することができる。 ○不等式 $A > B$ を証明するには $A - B > 0$ を示せばよいと考察することができ、そのことを用いて不等式を証明することができる。 ○不等式の証明で、等号が成り立つ場合について考察できる。 ○不等式の証明に実数の平方の性質を利用できるように、式変形を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○恒等式の係数を決定する際に、係数比較法と数値代入法とを、比較して考察しようとする。 ○等式、不等式の証明を通して、数学の論理に興味・関心をもつ。 ○相加平均・相乗平均の大小関係の有用性に、興味・関心をもつ。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		
	データの分析 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する力、目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力、不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする力などを養う。		【知識・技能】 ○偏差、分散、標準偏差、相関係数の定義とその意味を理解しそれらを求めることができる。 ○相関係数は散布図の特徴を数値化したものであること、数値化して扱うことのよさを理解している。 ○分散の意味を理解し、数値の割合を計算して新たな表を作成することができる。 ○仮説検定の考え方を理解し、具体的な事象に当てはめて考えることができる。 【思考・判断・表現】 ○変量の交換によって、平均値や標準偏差がどのように変化するかを考察することができ、それらの性質を活用して平均値や分散を見通しよく計算することができる。 ○散布図を作成し、2つの変量の間の相関を考察することができる。 ○データの相関について、散布図や相関係数を利用してデータの相関を的確に捉えて説明することができる。 ○複数のデータを、散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析し、問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりすることができる。 ○不確実な事象の起こりやすさに着目し、実験などを通して、問題の結論について判断したり、その妥当性について批判的に考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○変量の交換によって、平均値や標準偏差がどのように変化するか、考察しようとする。 ○相関係数の大きさを数値化する方法を考察しようとする。 ○問題の解決や改善を図るために、現状のデータの分布を望ましいと考えられる方向に変えるための条件や改善策を、コンピュータなどの情報機器を積極的に用いるなどして探ろうとする。 ○身近な事柄において、仮説検定の考え方を活用して判断しようとする態度がある。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		

	場合の数と確率 場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	場合の数(3) 順列(2) 円順列・重複順列(2) 組合せ(4)	【知識・技能】 ○和の法則と積の法則、順列、組合せの用語、記号、公式の利用場面を理解している。 ○順列に条件が付く場合には、条件の処理の仕方を理解している。 ○順列の問題で、重複して数えないための処理ができる。 ○円順列、重複順列の並べ方の総数を求めることができる。 ○組合せに条件が付く場合には、条件の処理の仕方を理解している。 【思考・判断・表現】 ○既知の順列の総数をもとにして、場合の数を数える適切な方針を考案することができる。 ○特殊な条件が付く順列を、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 ○具体的問題に対して、どのような場合に、円順列、重複順列の考え方が適用できるかを判断し、それらの公式を使って問題を解決することができる。 ○特殊な条件が付く組合せを、味方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 ○同じものを含む順列を、組合せで考案することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○1つの原則を決めて、樹形図などを利用して、もれなく重複することなく数えようとする。 ○自然数の正の約数の個数を数えること、式の展開を用いて約数の和が求められることに興味を示す。 ○樹形図を利用して、積の法則から順列の総数を求める式を導こうとする。 ○順列と組合せ、順列、円順列、重複順列の違いに興味・関心をもつ。 ○組合せの考え方を活用して図形の個数や同じものを含む順列の総数などが求められることに興味・関心をもつ。	○	○	○	16
	定期調査			○	○		
2学期	場合の数と確率 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	事象と確率(2) 確率の基本性質(2) 独立な試行の確率(3) 反復試行の確率(2) 条件付き確率(4) 期待値(2)	【知識・技能】 ○試行の結果の事象を集合として表すことができる。 ○確率、確率事象、和事象、独立な試行、反復試行、期待値の定義を理解し、確率の求め方がわかる。 ○試行が独立か、独立でないかを判断できる。 ○複雑な独立試行の確率を、公式や加法定理などを用いて求めることができる。 ○条件付き確率の式から確率の乗法定理の等式を導くことができる。 ○乗法定理を用いて2つの事象がともに起こる確率が求められる。 ○条件付き確率や確率の乗法定理を用いて確率の計算ができる。 ○確率の性質などに基づいて期待値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○試行の結果を事象として捉え、事象を集合と結びつけて考案することができる。 ○不確定な事象を、同様に確からしいという概念をもとに、数量的に捉えることができる。 ○集合の性質を用いて、確率の性質を一般的に考案することができる。 ○2つの独立な試行を行うとき、その結果として起こる事象の確率について考案することができる。 ○3つ以上の独立な試行を行うとき、その結果として起こる事象の確率について考案することができる。 ○既習の確率の知識を利用して、反復試行の確率について考案することができる。 ○原因の確率について、条件付き確率を利用して求める方法を考案することができる。 ○結果が不確定な状況下において、どの選択が合理的かを判断する基準として、期待値の考え方を活用して考案することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○くじを引くことを何回も繰り返す実験などを通じて、統計的確率と数学的確率の違いに興味・関心をもつ。 ○加法定理などを利用して、複雑な事象の確率を系統的に求めようとする。 ○身近な事例において、確率の考え方を活用して考案しようとする。 ○条件付き確率や確率の乗法定理の考えに興味・関心をもち、積極的に活用しようとする。 ○身近な事例において、条件付き確率の考え方を活用して考案しようとする。 ○日常の事象における不確定な事象について判断する際に、期待値を用いて比較し、考案しようとする。	○	○	○	16
	定期調査			○	○		
3学期	整数の性質 様々な人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深めると同時に、現実の事象を数学を用いて考案できるよう力を培う。	約数と倍数(3) 最大公約数、最小公倍数(3) 整数の割り算(3) ユークリッドの互除法(8) 1次不定方程式(8) 記数法(2)	【知識・技能】 ○約数・倍数、互いに素、配数法、10進法、2進法、n進法の意味を理解している。 ○自然数の正の約数とその個数を求めるのに、素因数分解が利用できることを理解している。 ○素因数分解を利用して最大公約数・最小公倍数を求める方法を理解している。 ○整数aを正の整数bで割る割り算を、aとbの間に成り立つ等式として捉えることができる。 ○2つの整数a、bを除数と余りを用いて表し、a+bなどの余りを求めることができる。 ○互除法の原理を理解し、互除法を用いて2数の最大公約数を求めることができる。 ○1次不定方程式の特解を求め、それによりすべての整数解を求めることができる。 ○n進法の整数を10進法で、10進法の整数をn進法で表すことができる。 【思考・判断・表現】 ○2数の最大公約数、最小公倍数を利用して問題を考案することができる。 ○問題解決の過程を振り返って、割り算の余りの性質について考案を深めることができる。 ○互除法の計算から最大公約数を表す式が導かれることを具体例から一般論に拡張し、考案することができる。 ○整数に関する問題を、1次不定方程式に帰着させて考案することができる。 ○現代の配数法を古代の配数法と比較し、特徴を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○10の倍数以外についての判定法を調べようとする態度がある。 ○「干支」という身近な用語について、最小公倍数との関連を見つけて考案しようとする。 ○数学者の経歴を通じて、割り算の方法や割り算の余りの性質に興味・関心をもつ。 ○互除法の原理の証明に興味・関心をもつ。 ○中学校で学んだ方程式ax+by=cについて、考案を深めようとする。 ○互除法や割り算の等式を利用して、ax+by=cを満たす整数x、yの組を求める方法に興味をもち、積極的に活用しようとする。 ○数学者の経歴を通じて、数の表し方に興味・関心をもつ。 ○コンピュータなどの身近な物に、n進法の考え方が活用されていることに興味・関心をもつ。	○	○	○	18
	定期調査						
							合計

理科 科目 物理基礎

物理基礎

單位數： 2 單位

対象学年組：第 1 学年 A組 ～ D組

使用教科書：（東京書籍 新改訂 物理基礎

教科 理科

の目標：

【知 識 及 び 技 能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するするために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎

の目標：

物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通じて、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	感	配当 時数
1 学 期	1第 1章 運動の表し方 【知識及び技能】 ・運動の表し方についての観察、実験などを通して、物理量の測定と扱い方、運動の表し方、直線運動の加速度について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・運動の表し方について、問題を見出し見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・運動の表し方に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・変位や速度・加速度などの基本的な物理量の測定と扱い方 ・谷成速度、相対速度 ・等速度直線運動 ・等加速度運動	【知識及び技能】 ・観察、実験などを通して、物理量の測定と扱い方、運動の表し方、直線運動の加速度について理解している。また、観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題意識を持ち、見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	2第 2章 ままごまな力とそのはたらき 【知識及び技能】 ・ままごまな力とそのはたらきについての観察、実験などを通して、ままごまな力、力のつり合い、運動の法則、物体の落下運動について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ままごまな力とそのはたらきについて、問題を見いだし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ままごまな力とそのはたらきに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・ままごまな力 ・力のつり合い ・運動の法則 ・落下運動	【知識・技能】 ・観察、実験などを通して、ままごまな力、力のつり合い、運動の法則、物体の落下運動について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・問題を見いだし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学 期	1第 3章 力学的エネルギー 【知識及び技能】 ・力学的エネルギーについての観察、実験などを通して、運動エネルギーと位置エネルギー、力学的エネルギーの保存について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・力学的エネルギーについて、問題を見いだし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・力学的エネルギーに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・仕事とエネルギー ・運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギー	【知識及び技能】 ・観察、実験などを通して、運動エネルギーと位置エネルギー、力学的エネルギーの保存について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題を見いだし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・力学的エネルギーに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	2第 1章 熱 【知識及び技能】 ・熱についての観察、実験などを通して、熱と温度、熱の利用について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・熱について、問題を見いだし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・熱に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・熱と温度 ・熱膨張 ・熱平衡 ・物質の三態 ・熱の利用	【知識及び技能】 ・観察、実験などを通して、熱と温度、熱の利用について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題を見いだし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	○	○		15
	定期考査			○	○		1
3 学 期	2第 2章 波 【知識及び技能】 ・波についての観察、実験などを通して、波の性質、音と振動について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・波について、問題を見いだし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・波に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・波動現象 ・波をグラフで表す (横波、縦波、遠さ、振動数、周期、波長、変位などの物理量の理解) ・波の重ね合わせ ・音波	【知識及び技能】 ・観察、実験などを通して、波の性質、音と振動について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題を見いだし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	○	○		17
	定期考査			○	○		1
							合計
							78

高等学校 令和6年度（1学年用）教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2 単位
対象学年組：第 1 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（生物基礎 東京書籍）

教科 理科 の目標：
【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎	の目標：
【知識及び技能】	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	6. 生物の多様性と生態系 【知識及び技能】 生物の多様性と生態系について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。また、生態系の保全の重要性について認識すること。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の多様性と生態系について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 話し合い、レポートの作成、発表を適宜行わせ、生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	以下の内容を十分に理解できる。 また、実験や観察を通して、生物について考察できる。 1. 生物の多様性と共通性 2. 植生と遷移 3. 遷移とバイオーム	【知識・技能】 定期考査の素点 小テスト 【思考・判断・表現】 定期考査の素点 授業ノートの内容評価 実験レポートの内容評価 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の対話 授業ノート・実験レポートの提出状況	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	1. 生物の特徴 【知識及び技能】 生物の特徴について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 話し合い、レポートの作成、発表を適宜行わせ、生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	以下の内容を十分に理解できる。 また、実験や観察を通して、生物について考察できる。 1. 細胞の特徴 2. 生物とエネルギー代謝	【知識・技能】 定期考査の素点 小テスト 【思考・判断・表現】 定期考査の素点 授業ノートの内容評価 実験レポートの内容評価 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の対話 授業ノート・実験レポートの提出状況	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
2 学期	2. 遺伝子とそのはたらき 【知識及び技能】 遺伝子とそのはたらきについて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 遺伝子とそのはたらきについて、観察、実験などを通して探究し、塩基の相補性とDNAの複製に関連付けて理解すること。塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を見いだして理解すること。 【学びに向かう力、人間性等】 話し合い、レポートの作成、発表を適宜行わせ、生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	以下の内容を十分に理解できる。 また、実験や観察を通して、生物について考察できる。 1. 遺伝情報とDNA 2. 遺伝情報とタンパク質	【知識・技能】 定期考査の素点 小テスト 【思考・判断・表現】 定期考査の素点 授業ノートの内容評価 実験レポートの内容評価 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の対話 授業ノート・実験レポートの提出状況	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

2 学 期	4. ヒトの体の調節 【知識及び技能】 ヒトの体の調節について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ヒトの体の調節について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節及び免疫などの特徴を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 話し合い、レポートの作成、発表を適宜行わせ、生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	以下の内容を十分に理解できる。 また、実験や観察を通して、生物について考察できる。 1. 体内環境と情報伝達 2. 免疫のはたらき	【知識・技能】 定期考査の素点 小テスト 【思考・判断・表現】 定期考査の素点 授業ノートの内容評価 実験レポートの内容評価 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の対話 授業ノート・実験レポートの提出状況	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
3 学 期	5. 生物の多様性と生態系 【知識及び技能】 生物の多様性と生態系について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。また、生態系の保全の重要性について認識すること。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の多様性と生態系について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 話し合い、レポートの作成、発表を適宜行わせ、生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	以下の内容を十分に理解できる。 また、実験や観察を通して、生物について考察できる。 1. 生態系と生物多様性 2. 生態系の保全	【知識・技能】 定期考査の素点 小テスト 【思考・判断・表現】 定期考査の素点 授業ノートの内容評価 実験レポートの内容評価 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の対話 授業ノート・実験レポートの提出状況	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
							合計
							78

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館書店））

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになる。運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
体育理論 【知識】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に主体的に取り組む。	・スポーツの始まりと変遷 ・文化としてのスポーツ	【知識】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に主体的に取り組んだ。	○	○	○	2
体づくり運動 【知識及び技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意欲、体の構造、運動の原則などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い、励ましあうこと、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、健康・安全を確保することができる。	・体づくり運動 ・実生活に生かす運動の計画	【知識及び技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意欲、体の構造、運動の原則などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い、励ましあうこと、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、健康・安全を確保することができた。	○	○	○	3
剣道 【知識及び技能】 剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などにおける自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 剣道に主体的に取り組むとともに、相手尊重、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなど、健康・安全を確保することができる。	・剣道 ・歴史、礼儀作法、体づくり、受け身、投げ技、固め技、遠投技を練習し、習った技を使って簡単な攻防を行う。 ・竹刀の持ち方、足さばき、簡単な打突、また基本技や簡単な打ち合いを中心に学習し、防具を付けている相手に打ち込みを行う。	【知識・技能】 剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、遠投技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防ができる。 【思考・判断・表現】 攻防などにおける自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 剣道に主体的に取り組むとともに、相手尊重、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなど、健康・安全を確保することができた。	○	○	○	13
ダンス 【知識及び技能】 楽しいテーマに基づいたイメージを捉え、振り付け、得意技のある動きや空間の使い方などで変化を付けて印象的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして発表することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに助け合い、励ましあうこと、作品や発表などの発表に責任を負うこと、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなど、健康・安全を確保することができる。	・グループ活動による創作ダンスを行う。表現したい内容を動き、構成を工夫し小モチーフから大モチーフへと発展させる。	【知識・技能】 楽しいテーマに基づいたイメージを捉え、振り付け、得意技のある動きや空間の使い方などで変化を付けて印象的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして発表することができる。 【思考・判断・表現】 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに助け合い、励ましあうこと、作品や発表などの発表に責任を負うこと、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなど、健康・安全を確保することができた。	○	○	○	
水泳 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や泳ぎ、体力の蓄え方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に主体的に取り組むとともに、肺活量などを伸ばす、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなど、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど自ら健康・安全を確保しようとする。	・クロール、平泳ぎ、バタフライ、背泳の4種類の泳法を学習する。 ・入学年次にバタフライの泳法を完成させ、25mを泳ぎきる。 ・記録を向上させる。	【知識・技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や泳ぎ、体力の蓄え方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができる。 【思考・判断・表現】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に主体的に取り組むとともに、肺活量などを伸ばす、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなど、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど自ら健康・安全を確保しようとする。	○	○	○	10

[illegible]

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 A組～ D組

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館書店））

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	現代社会と健康 【知識】 国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わること。生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 自他の健康やそれを支える環境づくりに関心をもち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指すようにする。	- 健康の考え方と成り立ち - 私たちの健康のすがた - 生活習慣病の予防と回復 - がんの原因と予防 - がんの治療と回復	【知識】 国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わること。生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解できた。 【思考・判断・表現】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 自他の健康やそれを支える環境づくりに関心をもち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指すようにしている。	○	○	○	8
	安全な社会生活 【知識及び技能】 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減でき、応急手当には正しい手順や方法があること。また応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることを理解できるようにする。 心肺蘇生法などの応急手当を適切に行うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用することができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 応急手当について関心をもち、積極的に心肺蘇生法の習得に取り組もうとする。	- 応急手当の意義とその基本 - 日常的な応急手当 - 心肺蘇生法	【知識・技能】 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減でき、応急手当には正しい手順や方法があること。また応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることを理解できた。心肺蘇生法などの応急手当を適切に行うことができた。 【思考・判断・表現】 応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 応急手当について関心をもち、積極的に心肺蘇生法の習得に取り組もうとした。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

2 学 期	現代社会と健康 【知覚】 喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること、薬物乱用は心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行っていないこと、またそれらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であること。精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること、また疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 自他の健康やそれを支える環境づくりに関心をもち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指すとする。	・運動と健康 ・食事と健康 ・休養・睡眠と健康 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康 ・精神疾患の特徴 ・精神疾患の予防 ・精神疾患からの回復	【知覚】 喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行っていないこと、またそれらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であること。精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 自他の健康やそれを支える環境づくりに関心をもち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指すとしている。	○	○	○	10
	安全な社会生活 【知覚】 安全な社会づくりには、環境の整備とそれに伴った個人の取組が必要であること、また交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること、さらに交通事故には補償をはじめとした責任が生じることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活における事象や情報などについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することや、交通安全について習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全な社会生活について関心をもち、積極的に学習に取り組もうとする。	・事故の現状と発生要因 ・安全な社会の形成 ・交通における安全	【知覚】 安全な社会づくりには、環境の整備とそれに伴った個人の取組が必要であること、また交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること、さらに交通事故には補償をはじめとした責任が生じることを理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活における事象や情報などについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することや、交通安全について習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全な社会生活について関心をもち、積極的に学習に取り組もうとした。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
3 学 期	現代社会と健康 【知覚】 感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であることを理解できるようにする。またエイズ及び性感染症について、その原因及び予防のための個人の行動選択や社会の対策などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 感染症の発生や流行には時代や地域によって違いが見られることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用することができる。 国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自他の健康やそれを支える環境づくりに関心をもち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指すとする。	・現代の感染症 ・感染症の予防 ・性感染症・エイズとその予防 ・健康に関する意思決定・行動選択 ・健康に関する環境づくり	【知覚】 感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であることを理解することができる。またエイズ及び性感染症について、その原因及び予防のための個人の行動選択や社会の対策などを理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 感染症の発生や流行には時代や地域によって違いが見られることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用することができる。 国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自他の健康やそれを支える環境づくりに関心をもち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指すとしている。	○	○	○	9
							合計

单位数： 2 单位 2

対象学年組：第 1 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（ MOUSA1 教育芸術社

教科 芸術

の目標：

【知 識 及 び 技 能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音樂 I

①目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に着けるようにする。	自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 分 時 数
			歌	器	創					
1 学 期	日本語の語感を生かし、情景を思い浮かべて歌う。	「校歌」 「むこうむこう」	○			【知識及び技能】 ・曲にふさわしい発声、発音 ・発展的な音楽用語 【思考力、判断力、表現力等】 ・語感を生かした表現 ・曲の構成、旋律と強弱の関わり 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業態度、提出物	○	○	○	8
	曲にふさわしい発声や発音で、美しく歌う。	「この道」 「Caro mio ben」	○		○	【知識及び技能】 ・曲にふさわしい発声、発音 ・イタリア語の発音 【思考力、判断力、表現力等】 ・語感を生かした表現 ・曲の構成、旋律と強弱の関わり 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業態度、提出物	○	○	○	8
	ギターの基本奏法やコードの仕組みを理解し、音色を工夫してピアノで演奏する。	「第三の男のテーマ」		○	○	【知識及び技能】 ・ギターの仕組みや奏法の理解 ・基本的な演奏の技能 ・コードの仕組みに関する知識 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色や奏法を生かした表現 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業態度、提出物	○	○	○	8
	身近なものを使って、音色やリズム、パフォーマンスを工夫してアンサンブルをする。	CUPS		○	○	○	【知識及び技能】 ・楽器としてのカップの使い方 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色を生かした表現 ・パフォーマンスの工夫 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業態度、提出物	○	○	○
2 学 期	曲にふさわしい発声や発音で、工夫して独唱・合唱する。 箏の基本奏法や日本音楽の特徴・作法を理解し、音色を工夫して演奏する。	「ぼくは ぼく」 「Heidenröslein」 「六段の調 初段」 箏曲アンサンブル四季「春」	○	○	○	【知識及び技能】 ・ドイツ語の発音、リートの特徴の理解 ・箏の仕組みや奏法の理解 ・箏の基本的な演奏の技能 【思考力、判断力、表現力等】 ・曲の構成、旋律と強弱の関わり 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業態度	○	○	○	2
	楽器の音色や曲の構成に注目して鑑賞する。 音をよく聴き合い、楽器の良さを生かしてアンサンブルをする。	「交響曲第9番」 「きよしこの夜」 「星に願いを」		○	○	【知識及び技能】 ・ベルの仕組みや奏法の理解 ・ベルの基本的な演奏の技能 ・交響曲やオーケストラについての知識 【思考力、判断力、表現力等】 ・曲の構成と文化・歴史との関わり 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業態度、提出物	○	○	○	1
3 学 期	パートの役割を理解し、発声を工夫してアンサンブルをする。 コードの響きを感じながら、ストローク奏法で弾き歌いをする。	「サザエさん」 「日曜日よりの使者」	○	○		【知識及び技能】 ・ヴォイス・アンサンブルの技能 ・ギターの基本的な演奏の技能 【思考力、判断力、表現力等】 ・グループごとの表現の工夫 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業態度、提出物	○	○	○	1
	音楽の要素とイメージを結び付けて鑑賞しよう。 コード進行をもとに、動物をイメージしてメロディーをつくろう。	「動物の謝肉祭」 メロディー創作			○	○	【知識及び技能】 ・室内楽や楽曲の背景に関する知識 ・音楽創作アプリケーションの使い方 【思考力、判断力、表現力等】 ・音楽の特徴と情景との関わり ・手法を生かした旋律制作 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業態度、提出物	○	○	○

1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 (一 人 一 冊)	話 (一 人 一 冊)					
1 学 期	【知識及び技能】 各レッスンのテーマに関し目標レベルに到達する。 【思考力、判断力、表現力等】 各レッスンのテーマにおいて外国語で自ら質問に答え内容を再現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にコミュニケーションを図る態度を身につける。	Lesson 1 Intercultural Relationships Lesson 2 Love beyond Species ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	① 定期考査：中間 ② Stock 4500英単語テスト ③ Essay Writing ④ 提出物・発表等	○	○	○	17
	定期考査		○	○		○		○	○	○	1
	【知識及び技能】 各レッスンのテーマに関し目標レベルに到達する。 【思考力、判断力、表現力等】 各レッスンのテーマにおいて外国語で自ら質問に答え内容を再現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にコミュニケーションを図る態度を身につける。	Lesson 3 Contributing to Our Planet Lesson 4 Messages for World Peace ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	① 定期考査：期末 ② Stock 4500英単語テスト ③ Essay Writing ④ 提出物・発表等	○	○	○	23
	定期考査		○	○		○		○	○	○	1
2 学 期	【知識及び技能】 各レッスンのテーマに関し目標レベルに到達する。 【思考力、判断力、表現力等】 各レッスンのテーマにおいて外国語で自ら質問に答え内容を再現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にコミュニケーションを図る態度を身につける。	Lesson 5 Respecting Each Other Lesson 6 Language and Culture ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	① 定期考査：中間 ② Stock 4500英単語テスト ③ Essay Writing ④ 提出物・発表等	○	○	○	23
	定期考査		○	○		○		○	○	○	1
	【知識及び技能】 各レッスンのテーマに関し目標レベルに到達する。 【思考力、判断力、表現力等】 各レッスンのテーマにおいて外国語で自ら質問に答え内容を再現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にコミュニケーションを図る態度を身につける。	Lesson 7 Technology and Discoveries Further Reading 1 Toward Sustainable Development Goals ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	① 定期考査：期末 ② Stock 4500英単語テスト ③ Essay Writing ④ 提出物・発表等	○	○	○	23
	定期考査		○	○		○		○	○	○	1
3 学 期	【知識及び技能】 各レッスンのテーマに関し目標レベルに到達する。 【思考力、判断力、表現力等】 各レッスンのテーマにおいて外国語で自ら質問に答え内容を再現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にコミュニケーションを図る態度を身につける。	Lesson 8 Standing Up for Human Rights Further Reading 2 Pictures without Shadows ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	① 定期考査：学年末 ② Stock 4500英単語テスト ③ Essay Writing ④ 提出物・発表等	○	○	○	26
	定期考査		○	○		○		○	○	○	1
											合 計
											117

高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現 I

教科：外国語 科目：論理・表現 I 単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（ EARTHRISE I, ブレイクスルー英文法36章, Grand View English Grammar in 48 Stages, リンケージ英語構文 100 ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声、語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的、社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現 I

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・外国語の音声、語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声、語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションの行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 （ 一 人 ）	話 （ 二 人 ）					
1 学 期	【知識及び技能】 文の種類、文型、時制を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文の種類、文型、時制を用いた英作文が書けるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に英語を使用して表現しようとする姿勢が身につく。	文の種類・基本文型・疑問詞・時制 ・副教材『Grand view』 Lesson 1～Lesson 6 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	① 定期考査：中間 ② 小テスト ③ Essay Writing ④ Presentation ⑤ 提出物等	○	○	○	17
	定期考査		○	○		○		○	○	○	1
	【知識及び技能】 完了形・助動詞・受動態・不定詞を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 完了形・助動詞・受動態・不定詞を用いた英作文が書けるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に英語を使用して表現しようとする姿勢が身につく。	完了形・助動詞・受動態・不定詞 ・副教材『Grand view』 Lesson 7～Lesson 17 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	① 定期考査：期末 ② 小テスト ③ Essay Writing ④ Presentation ⑤ 提出物等	○	○	○	23
	定期考査		○	○		○		○	○	○	1
2 学 期	【知識及び技能】 動名詞・分詞・比較を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 動名詞・分詞・比較を用いた英作文が書けるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に英語を使用して表現しようとする姿勢が身につく。	動名詞・分詞・比較 ・副教材『Grand view』 Lesson 18～Lesson 26 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	① 定期考査：中間 ② 小テスト ③ Essay Writing ④ Presentation ⑤ 提出物等	○	○	○	23
	定期考査		○	○		○		○	○	○	1
	【知識及び技能】 関係詞・仮定法・否定を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 関係詞・仮定法・否定を用いた英作文が書けるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に英語を使用して表現しようとする姿勢が身につく。	関係詞・仮定法・否定 ・副教材『Grand view』 Lesson 27～Lesson 35 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	① 定期考査：期末 ② 小テスト ③ Essay Writing ④ Presentation ⑤ 提出物等	○	○	○	23
	定期考査		○	○		○		○	○	○	1
3 学 期	【知識及び技能】 接続詞・その他の文法項目を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 接続詞・その他の文法項目を用いた英作文が書けるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に英語を使用して表現しようとする姿勢が身につく。	接続詞・その他の文法項目 ・副教材『Grand view』 Lesson 36 ～Lesson 40まで ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	① 定期考査：学年末 ② 小テスト ③ Essay Writing ④ Presentation ⑤ 提出物等	○	○	○	26
	定期考査		○	○		○		○	○	○	1

科目 情報 1

單位數： 2 單位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（実教出版 情報Ⅰ）

教科 情報

の目標：

【知 識 及 び 技 能】情報機器、技術を活用し、問題解決や情報社会で人との係りを深めることのできる能力を得る。

【思考力、判断力、表現力等】いろいろな事象において情報機器をつかい問題解決ができ、学習や生活に応用できる技能を習得する。

【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用でき、情報社会に主体的に参画できる態度を養う。

科目 情報 1

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報社会で生活するための情報技術を身に着け、自己の問題解決に利用できる。情報化の社会に対応できる知識、技術習得し、人とのかわりをよりスムーズに関係をもてる。	身に着けた情報技術や情報機器を活用でき自己の問題を解決に利用できる。さらに得た情報能力で適切な判断ができ積極的に情報社会に参画できる。	情報社会に関わり問題の発見、解決に向けて主体的に情報知識と情報機器を活用し、自ら改善しようと積極的に取り組む姿勢が見られる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	感	配当 時数
1 学期	A 単元 情報社会 【知識及び技能】 データ、情報、知識の関係を理解 できる。 【思考力、判断力、表現力等】 データ活用とその関わりを理解 【学びに向かう力、人間性等】 インターネット等で調査できる。	・指導事項 情報の特徴と情報モデル 知的財産権 個人情報の保護 ・教材 ブラウザ Webページ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 情報社会の関係を理解できたか。 【思考・判断・表現】 データをどのように利用できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 インターネットなどでデータ集めを行った か。	○	○	○	3
	B 単元 メディア関係 【知識及び技能】 各メディアの内容を知る 【思考力、判断力、表現力等】 各メディアの特徴とそのメディア を伝える 【学びに向かう力、人間性等】 ブラウザなどで積極的情報収集	・指導事項 情報メディアの特徴 インターネットの形態 Webでのコミュニケーション ・教材 ブラウザ、Webページ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 メディアを使って情報発信ができるか。 【思考・判断・表現】 メディアの内容を理解できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報データなど収集を積極的に行ったか。	○	○	○	4
	定期考査						
	C 情報デザインとその実践 【知識及び技能】 文字、画像、音声の特徴を理解 【思考力、判断力、表現力等】 ワープロなどを使って各メディア を表現できる 【学びに向かう力、人間性等】 文章、プレゼン作品の作成	・指導事項 文字、図形、Webの特徴とそのデ ザイン 実習：ワープロでデザイン文章 作成、プレゼンテーション、HTML でのWebページ作成 ・教材 ワープロ エディタ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 メディアとそのデザインの特徴を理解でき たか。 【思考・判断・表現】 実習でうまく作品がつくれたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 プレゼン、Webページの作品づくりを積極 的に行ったか。	○	○	○	11
	D 単元 システムとデジタル化 【知識及び技能】 コンピュータのしくみと各装置 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータの計算のしくみなど 説明できるか。 【学びに向かう力、人間性等】 ハードやソフトを理解する。	・指導事項 コンピュータのしくみ ソフトウェアハードウェア インターフェース デジタル化と2進数、演算 ・教材 コンピュータ内の部品 各種インターフェース	【知識・技能】 コンピュータの仕組みが理解している。 【思考・判断・表現】 2進法や演算の仕組みを理解できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータ部品、周辺機器の実物に興味 をもって積極的に理解しようとしたか。	○	○	○	9
定期考査				○	○		1
2 学期	A 単元 ネットワークとセキュリ ティ 【知識及び技能】 通信方法の種類やLANの構成 【思考力、判断力、表現力等】 LAN構成機器内容を考えられる 【学びに向かう力、人間性等】 LAN装置を自ら調べようとする	・指導事項 ネットワークの構成 プロトコルの内容 Webページとメールのしくみ 情報セキュリティの確保 ・教材 通信機器部品 Webページ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ネットワークの仕組みが理解している。 【思考・判断・表現】 LANのしくみを理解できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 LANの構成を個人やグループ活動で興味 をもって積極的に理解しようとしたか。	○	○	○	16
	A 単元 問題解決とその方法 【知識及び技能】 問題解決の現状把握とその手順 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決に表計算ソフトを活用 できる 【学びに向かう力、人間性等】 解決にソフトを積極的に使う	・指導事項 問題解決とは データの活用 モデル化とシミュレーション 情報セキュリティの確保 ・教材 表計算ソフト ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 問題解決の方法を理解できたか。 【思考・判断・表現】 データを収集選択できる能力があるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 表計算ソフトや各ソフトを積極的使い、分 析と問題解決をしようとしたか。	○	○	○	15
	定期考査				○	○	
3 学期	A 単元 アルゴリズムとプログラ ミング 【知識及び技能】 基本制御構造の内容を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 フローチャート図を作成する 【学びに向かう力、人間性等】 プログラミング言語に興味を示	・指導事項 プログラミング言語の種類 アルゴリズムとその表記 実習：プログラミングの方法 ・教材 表計算マクロ(VBA)やPython ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 アルゴリズムその使い方を理解できたか。 【思考・判断・表現】 アルゴリズムの基本的制御構造やプログラ ミング言語の種類や特徴を理解できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 アルゴリズム図を書いたりプログラミング 言語を使おうとしたか。	○	○	○	8
	A 単元 プログラミングの実践と 情報のまとめ 【知識及び技能】 VBAによるプログラミング実習 【思考力、判断力、表現力等】 関数や構文を理解し使用する 【学びに向かう力、人間性等】 プログラミングを積極的に実施	・指導事項 変数、関数の使い方 関数、変数の使い簡単なプログ ラム作成 情報のまとめ ・教材 表計算マクロ(VBA) ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 表計算マクロを理解できたか。 【思考・判断・表現】 関数、変数が理解できプログラムを作動で きた。 【主体的に学習に取り組む態度】 プログラミングを積極的に開発し辛抱強く デバッグもしたか。	○	○	○	10
	学年末考査				○	○	